

令和4年第10回室蘭市教育委員会定例会

会議録

令和4年第10回室蘭市教育委員会定例会

1 日 時 令和4年10月19日(水)
開会 午後4時15分
閉会 午後5時00分

2 場 所 室蘭市役所 2階大会議室

3 本日の議事日程

日程	番号	件 名
第1		会 議 録 署 名 委 員 の 指 名
第2		会 議 録 承 認 に つ い て
第3	報告第1号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 1 1 月 行 事 予 定 の 件
第4	報告第2号	教 育 機 関 等 に 対 す る 寄 附 採 納 の 件
第5	報告第3号	令 和 4 年 度 全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 結 果 の 件
第6	報告第4号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 臨 時 代 理 の 件 (室 蘭 市 教 育 委 員 会 事 務 局 職 員 等 の 人 事 発 令 の 件)

4 出席委員 伊藤教育長 稲川委員 奈良委員 定廣委員 古谷委員

5 説明員 坂口教育部長 西舘教育部次長 高田教育指導参事
椎名指導主事 棟方指導主事 山口学校教育課長
山崎生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹
本野学校給食センター所長 伏見図書館長

伊藤教育長

ただ今から、令和4年第10回室蘭市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。本日の会議録署名委員に稲川委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

次は、日程第2「会議録承認について」であります。令和4年第7回、第8回、第9回定例会の会議録は、先日、委員の皆様以案として配布しております。配布案のとおり、承認することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、承認といたします。

次は、日程第3「報告第1号 室蘭市教育委員会11月行事予定の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

「報告第1号 室蘭市教育委員会11月行事予定の件」のうち、主なものにつきまして、ご説明いたします。次のページの報告第1号別紙をご覧ください。

はじめに、生涯学習課でございます。社会教育では、27日に「男女共生セミナー第4講」がミントールで開催されます。講師は、室蘭海上保安部苫小牧海上保安署署長の女性に今回特別に来てもらうことになっております。次の文化振興・青少年では、3日に「令和4年度室蘭市青少年及び青少年育成者・芸術文化・生活文化伝承者・スポーツ表彰式」が、室蘭プリンスホテルで開催されます。次の民俗資料館では、23日に「とんてん館寺子屋教室 干支凧づくり体験学習会」が開催予定となっております。次の市民美術館では、1日から6日まで「開館14周年記念特別展 西村喜久子展」が、8日から30日まで「鈴木強 作品展」が、10日から13日まで「第85回室蘭

美術協会「公募展」が、23日から27日まで「第72回市民文化祭「写真展」が開催されます。次のスポーツでは、3日に、先ほど文化振興・青少年で申しあげました表彰式が開催されるほか、6日に「室蘭市スポーツ少年団リーダー養成講習会」が㊤栗林商会アリーナで、19日に「スポーツ指導者講習会「救命講習」が消防庁舎で、20日に「室蘭市スポーツ少年団「体力テスト判定会&スポーツ交流会」が㊤栗林商会アリーナで開催されます。次のページDENZAI環境科学館でございます。23日に「室蘭こども環境フェスタ」が開催されるほか、「ファミリーサイエンス」や「スポットサイエンス」などが随時、開催されます。次の図書館では、1日から9日まで「読書週間特別展示」が開催されるほか、「おはなし会」や「ステップライブラリー」などが随時、開催されます。次の港の文学館では、引き続き、月を通して「港の文学館企画展「室蘭市開港150年市制施行100年記念事業後期「蘇る昭和の室蘭」」が開催されます。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第1号は、終了します。

次は、日程第4「報告第2号「教育機関等に対する寄附採納の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

「報告第2号「教育機関等に対する寄附採納の件」について、ご説明いたします。次のページの報告第2号別紙をご覧ください。

寄附採納は3件ございまして、1件目は、室蘭ロータリークラブ様より、創立85周年を記念して、プラネタリウム投影番組一式、金額にいたしまして30万円相当の寄附をいただいたもので、

青少年の科学技術への興味を勧奨するために活用させていただきます。2件目は、室蘭市市民会館運営委員会様より、市民会館の開館20周年を記念して、会議室用長テーブル61台、金額にいたしまして290万円相当の寄附をいただいたもので、市民会館の運営ために活用させていただきます。3件目は、新和産業株式会社様より、図書カード4万円分の寄附をいただき、これまでに累計で27万円の寄附をいただいております。こちらは、子どもの健全育成のための図書充実、読書普及を図るために活用させていただきます。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。

稲川委員

プラネタリウムを見学させていただいた時に空調や換気システムがちゃんとなっていないことを伺っていたのですが、どのような形で空調や換気をされていくのか、考えをお伺いしてもよろしいでしょうか。

西館教育部次長

空調システムにつきましては調子が悪かったということもあり、今はできるようになったのですが、換気は今のところ難しい状況にあります。どのように換気をしていくかまだ答えは出ていない状況で、今現在は番組が終わった後に換気をするのですが、番組を上映中の40、50分は締め切らないといけないので、定員を3分の2から半分にしております。

稲川委員

構造上の問題もあるのかなと思います。エアドッグは相当な量のウイルスを除去することができ、当院でも導入しているのですが、プラネタリウムにも設置できたらウイルスを上手く除去できるのではないかと思います。

伊藤教育長

ありがとうございます。ほかに、ありませんか。それでは、報告第2号は、終了します。

次は、日程第5「報告第3号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

椎名指導主事

「報告第3号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の件」についてご説明申し上げます。これは、令和4年4月19日に行われました全国学力・学習状況調査結果の件についてご報告するものでございます。なお、この調査は、小学校6年生および中学校3年生の国語、算数・数学、理科の3教科について実施しておりますのでご承知おきください。報告第3号別紙資料をご覧ください。

こちらには、上段に各教科の全国・全道の平均値を表しております。続いて、(1)に今年度、(2)に令和3年度の全国平均値と比較した学力の到達度を学校数にてお示ししました。表の中の数字は学校数を表しており、全国平均値を0とした場合の各学校の状況を9段階のカッティングポイントにてお示ししています。なお、(2)の理科は、前回の実施が平成30年度となっておりますのでご承知おきください。(1)の黄色、(2)の紫色のセルが本市の平均値でございます。2つの表でこの平均値を見比べた場合、小学校の国語と算数では一段階の下落、理科では「ほぼ同程度」を維持しております。中学校国語と数学では1段階の上昇、理科では1段階の下落が見られました。このページよりみられる課題と成果です。課題といたしましては、小学校においては、国語・算数ともに上位層の減少と下位層の増加が見られること、中学校理科においては、全国と同程度であった5校の集団の結果が下がってしまったことが挙げられます。成果といたしましては、小学校の理科においては、「かなり低い」の層が引き上げられ、な

くなったこと、中学校の国語・数学において全体的に下位層が減り、「高い」の段階まで学力の底上げが図られたことが挙げられます。

1枚おめくりください。このページと次ページの資料は、小学校と中学校の科目領域別に、全国平均を100とした数値を点線、全国に対する本市の割合を赤い実線で表したものとなっております。まず、小学校における課題と成果でございます。課題といたしましては、右上の国語「我が国の言語文化に関する事項」、主に漢字の読み書きや文字の書き方に関わる部分にて全国平均値を下回ったこと、下の算数「図形」及び「変化と関係」の分野にて、全国平均値を下回ったことが挙げられます。今回特に小学校の算数にて落ち込みが見られた要因の一つは、プログラミングに関わる問題での正答率が低く、無回答の児童も多くみられたことでございます。この学習については、各校とも教科や総合的な学習の時間の中で取り組んでいるものの、授業で学習した事項を忘れていた児童も多いのではないかと推測されます。今後、学年ごとの系統性を意識し、継続的な指導となるようなカリキュラムの工夫について、各学校への指導・助言を行ってまいります。一方の成果といたしましては、残念ながら全国平均を上回ってはいないものの、グラフ上部にございます国語の「言葉の特徴や使い方に関する知識及び技能」、主に文法事項等に関わる部分と、左側にあります理科のエネルギー・生命の各分野にて、ほぼ全国水準の結果となっていることが挙げられます。1枚おめくりいただき、次は中学校です。全体的にバランスが良く、ほぼ全国水準の力を身につけていることがうかがえます。特に、これまで課題とされてきた左下部数学の「データの活用」領域の改善が見られたことは、各学校における学習カリキュラムや指導方法の工夫・改善の成果と考えられます。一方の課題といたしましては、下部の数学「数と

式」、「図形」の各領域にて、平均値を下回ったことが挙げられます。このことは、小中ともに教科によらず、感想や自分の考え、計算の方法、判断の理由などを記述表現することへの課題としてみえる部分です。様々な教科にまたがって事象を基に考える力を養い、自分の考えを表現したり、自他の考えを交流し、比較しながら考えたりする協働的な学びの充実を、各学校へ指導・助言を行ってまいります。

1 ページおめくりください。ここからは、学習・生活習慣の調査結果の経年比較でございます。各ページの左半分が小学校、右半分が中学校の結果で、各グラフ上部に全国の平均値と本市の平均値との差をお示ししております。また、折れ線グラフ内にあります赤丸が本市の平均値を、青い三角が全国の平均値を表しております。(1)から(3)は規則正しい生活習慣を見取る項目です。これらの結果から、小中ともに、全国水準とほぼ同程度となっておりますが、小学校において、「朝同じくらの時間に起きている」「朝食を毎日食べている」の2つの項目で全国平均を下回る結果となっており、朝に弱い児童の増加が懸念されるところです。

(4)から(6)読書・学習習慣につきましても、全国水準とほぼ同程度を維持しておりますが、中学校での読書時間が全国平均を下回ったほか、昨年全国を上回った平日の学習時間が、小学校において再び下回る結果となりました。(7)平日テレビゲーム等を3時間以上している児童生徒は、全国的に増加傾向にありますが、ともに本市は全国平均を上回っております。(8)「自分にはよいところがある」の項目についてですが、小学校では上昇に転じているものの依然全国平均を下回っております。(9)「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目ですが、割合は減少傾向ですが小中ともに全国を上回っております。

(10)「学校に行くのは楽しい」の項目は、全国

的には上昇に転じましたが、本市においては小中ともに減少となりました。また、(11)(12)地域との関わりに関する事項でも、(12)の小学校において若干の増加は見られますが、依然減少傾向が強くなりました。今回の質問紙調査において特に特徴的となった(10)「学校に行くのは楽しい」と答える児童生徒の減少についてですが、「自分にはよいところがある」との相関が認められることは、これまでも明らかとなっておりました。また、この度の分析で、その他にも、一人ひとりの教育的ニーズにあわせた学びや話し合い・練り合いによる協働的な学びなど、学び方や指導方法との関わり、毎朝朝食を食べるなどの生活習慣や、困ったときに相談に乗ってくれる身近な大人の存在、地域との関わりなど、様々な要素との相関が認められることが分かってまいりました。

これら調査結果の分析から明らかとなつてまいりました本市の児童生徒の学力及び生活学習習慣の実態や課題について、各学校の授業や指導課程の工夫改善につなげることはもちろんのこと、学校だけでなく家庭・地域とも課題を共有し、3者が歩調を合わせて子どもたちの学びを支えることのできる体制づくりに努めてまいります。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。

稲川委員

石川県と秋田県の上位県は、これのための課題授業を行っていて叩かれていましたが、これは適正に行っていればいいんですよね。室蘭では実態としてどのようになっていますか。

椎名指導主事

昨今として話題となっている、テストの点数を上げるために練習をいっぱい重ねたのではないかというような実態に関しては、室蘭として「練習

をいっぱいするように」などは申し上げておりません。ただ、全国学力・学習状況調査というのは、一方で、子ども達の状況を知るのはもちろんですが、問題を通して今の子ども達がきちんと身につけなければいけない資質・能力の定着度合いを図る指標にもなっています。一概に、成績が良い・悪いというのではなく、もしもこういう問題ができていないということであれば、今の子ども達が求められている力を身につけていない可能性が高く、大人になったときに困らないようにこれからの小中学校の9年間で身につけてあげましょうという意味合いで過去問テストを授業の中で問題練習として活用してもらったりするお願いはしています。「練習をしてください」ではなくて、「身につけているかどうか確かめてください」という意味で学校にお願いしているところです。

稲川委員

過去問をやらせている実態についてはいかがですか。

椎名指導主事

実態として、例えば、過去問をすごくやらないといけなくて、そればかりに時間を取られるとなると、先生方から苦情の声が聞こえてくると思うのですが、そういった実態は今のところありません。

稲川委員

先生の質や教え方が良い等、上位になって良いことはあるのですか。

椎名指導主事

上位になっているかということよりも、平均よりも大幅に下がっている部分があったとしたら、力が十分についていないということなので、対策をしていく必要はあるのかなと思います。

伊藤教育長

今回の結果で、「学校に行くのが楽しい」と回答する子どもが、2年連続、特に小学校で下がって

いるのが心配でして、子ども達が楽しみにする行事や活動を、以前のように少しずつ戻していかないと、ただ朝から6時間授業を受けて家に帰るだけでは厳しいのかなと思っています。今後校長会などで相談しながら進めてまいりたいと思います。
ほかに、ありませんか。

稲川委員

「地域や社会のために自分が何をすべきか考えることがある」のところでは、中学3年生と小学6年生で適正に道徳教育がされているということではないのでしょうか。全国との比較なので、そういう意味では、半数以上の人は考えているが中学3年生になるとあまり考えなくなるのかもしれませんが、設問の仕方が少しわかりかねます。

椎名指導主事

(12)の設問については、色々な表現ができるのかなと考えております。「地域との関わり」という視点からでも見れますし、子ども達が地域の中で育っていく上で、キャリア教育的な「自分として何ができるのか」や「将来、室蘭や北海道という地域でどんなふうにできるのか」というような捉え方や、「自分は大人とどんな関わり方をしていけるのか」というような広い捉え方もできると思います。道徳の授業も大切だと考えておりますが、一方で、道徳だけではなく社会や理科、特別活動や総合的な学習の時間など、包括的に地域のことを考えていく学習活動や将来の自己形成に向けたキャリア教育などが必要になってくるのかなというところで、小学校でこれだけ数値が高いのに、中学校に行ったら低くなってしまふのは非常にもったいないと感じています。確かに小学校の方が、地域を学習する時間が多いんですね。今後、小中が1つになった授業をしていく中で、小学校で高めた意識を中学校でも引き継げるように検討してまいりたいと思います。

稲川委員 小学生は素直に言えるけど、中学生は照れて素直に言えないのが自然なのかなと思いました。

椎名指導主事 それもあると思います。

稲川委員 質問の設定が、ただ1行だけなのか、色んなことを加味したものなのかが大事になってくると思います。

伊藤教育長 ほかに、ありませんか。それでは、報告第3号は、終了します。

次は、日程第6「報告第4号 室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件）」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長 「報告第4号 室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件）」について、ご説明いたします。

本件につきましては、令和4年10月1日付けの室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令について、教育委員会臨時会を招集するいとまがないことから、室蘭市教育委員会教育長に対する事務委任等規則第3条第1項の規定により、教育長がこれを臨時代理したものであり、同条第2項の規定により報告するものでございます。臨時代理の内容でございますが、次のページの報告第4号別紙をご覧ください。給食センター主査の佐々木和也が室蘭市へ出向となり、会計課会計係主査の小倉他加子が、学校給食センター主査として転入となっております。

説明は以上でございます。

伊藤教育長 ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第4号は、終了します。

以上で、今日の議題はすべて終了しましたが、事務局の方からほかにありませんか。

坂口教育部長

A3のグラフの資料は、小中学校の新型コロナウイルス感染者数を示しているものです。9月に下がってきたのですが、全国的に第8波と言われているように、10月に入って微増となり、減少が止まっている状況ではありますが、1つのクラスで多数が感染するようなことは起きていなく、ここ10日間は学級閉鎖をしている学校はない状況でして、比較的落ち着いている状況でございます。ただ、国の方でこれから旅行支援が始まりますので再拡大が懸念されますが、大きな拡大につながらないように各学校で感染対策に万全を期しているところでございます。A3の表は、室蘭市のホームページに載っている年代別のワクチン接種実施状況を印刷したものでございます。12歳から19歳につきましては、かなりの割合でワクチン接種が進んでいる一方で、小学校年代については、まだ3回目ワクチン接種が始まったばかりということもあり進んでいない状況です。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。

これもちまして、令和4年第10回室蘭市教育委員会定例会を閉会いたします。

本委員会の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

室蘭市教育委員会教育長 伊 藤 博 明

室蘭市教育委員会委員 稲 川 昭

会 議 録 調 製 員 坂 口 淳